

たくさんのご来場 ありがとうございます。



第5回小坂福寿草まつりが終わりました。愛護会の会員を中心に、駐車場の設営や遊歩道に竹チップを敷き詰めた2月23日には、まだ駐車場の半分近くに雪が残っていました。

そして、福寿草まつりの最終盤には、フクジュソウの花も次世代へのバトンを繋ぐべく、受粉を終えてその生命に区切りを付け、群生地は葉が生い茂り、すっかり緑の絨毯へと模様替えしました。

まつりの中間日、3月19日には昨年に続いて荻原長野市長、小泉市議会議員にお越しいただきセレモニーを開催しました。今年は、地元・新村さんのキーボード、塚田さんのフルートによる生演奏や、神楽保存会による獅子舞を奉納しました。

今季を通じてのご来場者は約2,000名で、見頃の週末に限って悪天候になり出足が鈍るなど、昨年には及ばなかったものの、多くの方から感動や感激の言葉をいただき、七二会を代表する観光資源としてしっかり根付きました。

5月にはコンテストに応募していただいた写真の審査があります。入賞作品を七二会支所・コミュニティホールなどで展示しますので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。



🌸 『花いっぱい』 会員募集! 🌸

“みんなのお花畑”に、たくさんのお花を咲かせるために一緒に作業して下さる方を募集しています。4月～11月 第2及び第4土曜日8:30～10:30どちらか1回参加できる方。七二会地区以外の方でも大歓迎です。応募・詳しくは、住自協(262-1203)までお問い合わせください。たくさんのご応募お待ちしております。



お知らせ

「かわら版の記事について」

いろいろな事情により、長野市は「広報ながの」の配布方法を今月号(5月号)から変更することになりました。

みなさんのお手元に届く時期(毎月末頃)は変わりませんが、配布方法の変更により、発行する側の締め切り時期が昨年度までに比べて大幅に繰り上がることになりました。このため、タイムリーな情報提供ができなくなることも予想されます。

可能な限り新鮮なネタをお届けするよう努力しますが、ご理解をお願いします。



令和4年度 サロン事業代表者会議

去る、3月3日七二会支所会議室において、サロン事業代表者会議が開催されました。はじめに、地域福祉推進委員長・酒井様より労をねぎらう御言葉を頂き、活動を振り返ってということで、各代表者より発言がありました。それぞれコロナ禍で外出を避け、家にこもりがちの状況の中、いかにして多くの人たちと楽しく会話できる場を提供するか、皆様工夫を凝らし、努力し、開催されている事がうかがえました。又開催にあたって、多様な講座、貸し出し用具等もあるとのことなので、それ等を利用して頂き、皆様に「行って良かった!」「次はいつ?」と言われるようなサロンを開催したいと思いました。

(寄稿：笹平ふれあいお茶のみサロン代表者 倉田 健)



3月9日定谷サロン ～定谷公民館にて～

健康福祉推進委員会議の中で行った、冬季健康講座『学ぼう! 高血圧予防のための食事』の資料をもとに、冬の健康対策を皆様と一緒に話し合いました。人生経験豊かな諸先輩方のお話や、ご意見も交えながら楽しい学びの時間を過ごせました。

七二会フレッシュ体操や、その場で簡単に出来る口の体操なども、今後のサロンに積極的に取り入れていきたいと思えます。

これからも会議で学んだ健康福祉に関する事を、地区の皆様にお届けし、経験も浅い私が、「一緒に学びましょう」とはおこがましいですが、少しでも地域のお役に立てれば幸いです。

(寄稿：健康福祉推進委員 小池 理恵)

全戸配布!!

『第3次七二会地区地域福祉活動計画』をお届けします!!

令和4年度、ほぼ1年間かけて作成した『第3次七二会地区地域福祉活動計画』が完成しましたので、このかわら版5月号とともに皆様にお届けします。

地域福祉活動計画とは、住民自ら地域課題解決に向けた地域福祉活動に取り組むため、長野市地域福祉計画に沿って、地区ごとに住民自治協議会が中心となり、策定する計画です。

『第3次七二会地区地域福祉活動計画』は住民の皆さんに伝えやすく、わかりやすいものにしようということにこだわり、また、急激な人口減少と高齢化、担い手不足等、厳しさが増す中でも、住民みんなで地域づくりに取り組んでいけるよう願いをこめて作成しました。

今後、お茶のみサロンやわくわく健康塾等の通いの場、また関係各所の既存の会議など様々な機会にご説明し、計画推進のご協力をお願いしていきます。

ぜひとも、よろしくお願いいたします。

※全戸配布した『第3次七二会地区地域福祉活動計画』は、これからの集いの場などに持参していただきますので、各ご家庭で大切にご覧いただくようお願いいたします。



◆◆ 編集のつぶやき ◆◆

令和5年度がスタートしました。「住自協かわら版」も新年度にあたり、住自協と地区のみなさんをつなぐ媒体として、編集部一同、より良い紙面づくりに邁進します。

特に、地域振興や福祉関係のニュース、人権教育関係の話題なども統合して織り込み、また、機会があればみなさんの声を紹介する紙面として、「住自協の総合版」を目指します。引き続きご愛読のほど、よろしくお願いいたします。

